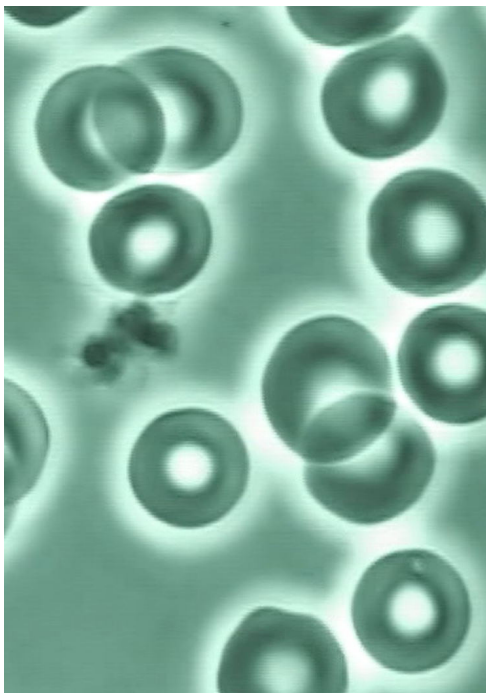


”Nature’s Law” ”自然摂理”

"人間が悲しむことを許さない" 自然界にはそんなメカニズムがあります

正常な赤血球



量子生態学の提唱者が量子作用を研究して得たのは、厳然と存在する絶対メカニズムでした。それは、自然界には、「人間が悲しむことを許さないシステムが存在する」という事実です。

量子生態学には、血液の情報処理システムに関する特許技術（第6864279号）があります。通常は、「血中ナノ粒子による動態変化検査システム」と呼んでいます。簡単に説明すると、赤血球には血液の量子環境次第で形を変える性質があり、時間経過に伴う量子変化（例：空気中の酸化）で発生する血液内分子の形状変化を追跡し、生活が自然摂理に沿うか否かを判別する技術です。

正常な赤血球はきれいな正円ですが、質の悪い食生活などが続くと血液の量子環境が悪化し、正円を作れなくなります。いびつになったり金平糖のように変形し、このような血液環境のまま過ぐすと病気になる可能性があります。ところが規則正しい生活で質の良い食事をしていても、瞬間的にストレスや恐怖心を持つと、赤血球がいびつになったり金平糖のようになる場面を血液観察時に見かけるのです。

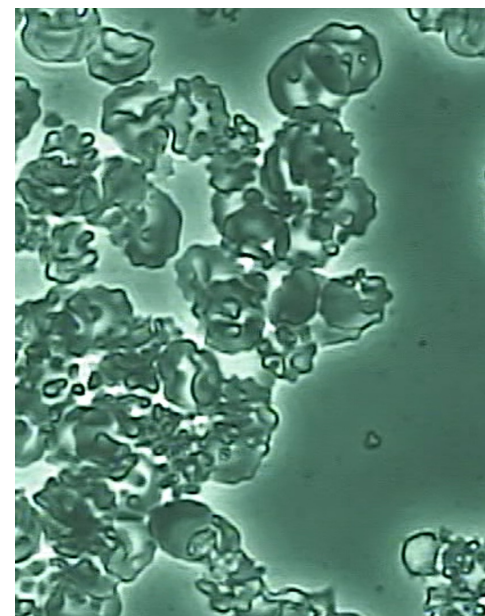
これは人体が、肉体や内臓に物理的異常を受ける以外に、精神的な悪影響だけでも病気になる原因を作る可能性があることを意味しています。ストレス・恐怖心・悲しみなど、負の感情が赤血球の形状異常を起こし、これが続くと実際に病気になる環境を作ってしまうのです。そのままストレスを抱えていると、本当に病気になり、さらには死んでしまうことになりかねません。

このようにストレスや恐怖や悲しみが蔓延する社会では物事がスムーズに動かず、人々の体調不良は続き、最終的に人間社会が破滅する可能性を秘めています。つまり自然界には、人間が悲しい思いをする社会は存在できない、自滅する、そんな仕組みがあるのです。

相反する現象が、よく耳にする、歌手の皆さんなどのお話しです。それは、自分の歌で元気になるファンの姿を見て、自分も元気やエネルギーをもらえると内容です。似た感覚は、たくさんの方も経験したことがあるはずです。自分が誰かの役に立ったとき、相手が幸せになる姿を見たり感謝の言葉を貰うと自分も嬉しくて元気になるという現象です。

そして自分の行為で相手が幸せになる姿を見て元気になる社会は、病気もなく、物事はスムーズに成立し、末永い繁栄へと繋がります。

量子生態学で血液の量子環境を研究して見つけたのは、自然界のそんなメカニズムの存在でした。量子生態学という学門があることを知った皆さんは、是非量子生態学を誰かに伝えてください。



異常な赤血球

理論サイト

Topetohaプロジェクト



株式会社ソウルリバースバンキング

